

## 次号予告

### 特集 SCM時代における生産管理の新概念 APS

APSの論理構造—MRPからの離脱—	黒田 充 (青山学院大学)
APSにおけるオーダ評価方法に関する一考察	船木謙一 (日立製作所)
ネットワーク型SCMにおけるAPSの役割	成松克己 (東芝)
引当て処理の特徴とAPSにおける機能化	荒川雅裕 (関西大学)
APS導入の実際—現場からの報告—	野本真輔 (構造計画研究所)

### 編集後記

●先日海外旅行をする際に、プラスチックローミングと呼ばれるサービスを体験した。国内で利用している携帯電話の中にあるUIMと呼ばれるチップを海外用の携帯電話に差し込むことで、同一の電話番号を海外でも利用できるものである。日本からは携帯番号のみで接続されるので、滞在先を意識することなく通話が可能となる(ただし、こちらが時差ボケになっていなければ、の話であるし料金も馬鹿にならないが)。

●かつては高価なビジネスツールと考えられていた携帯電話も様々な機能を強化しながら普及が進み、いまや携帯電話を持たない人は少数派というよりむしろ、一種「変わり者」とさえ認識されかねない。携帯電話を持つ理由より、持たない理由が問われるようになるまで10年もかかっていない。そのような急激な成長がバブル崩壊後に起きているのだから少々不思議な気分にもなる。

●今月の特集「次世代移動通信サービス」でも、主役はやはり携帯電話ということになるだろう。本文を見

てもわかる通り、携帯電話の世界は成熟から停滞に向かうところか、世界的な標準化を押し進めユビキタス時代の主役を狙う勢いがあるとさえいえるのではないか。「経営の科学」を標榜するオペレーションズ・リサーチの研究者が取り組むべき課題も多いと確信している。

●ただ、ますます機能が豊富となり、かつパーソナリ化が進んだ社会における身分証明書とも言うべき存在であろうツールはもはや携帯「電話」と呼ぶようなものではないかもしれない。実際のところ、現在でもインターネット通信、カメラ、ビデオゲーム等、他のデジタル機器の機能を取り込んだ端末が幅を利かせている。10年後我々はどんなモノを身につけているのだろうか。想像力に乏しい身ゆえに及びもつかないが、個人的に望むのはストレスを感じさせない入出力インタフェースである。機能がどんなに進化しても電話機であることから抜け出せていないのは如何だろうと思うのだが…。(土屋利明)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 杉野 隆(国土館大学)

委員 井階美歩(株)NTT データ、池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大村弘之(日本電信電話(株))、岡田 勇(創価大学)、小沢利久(駒澤大学)、住田 潮(筑波大学)、高橋一喜(東京ガス(株))、土屋利明(日本電信電話(株))、所 健一(財団法人中央研究所)、中川義之(キヤノンシステムソリューションズ(株))、生田日崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、村井雅彦(株)東芝

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成16年8月号 第49巻 第8号 通巻524号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032  
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 杉野 隆

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税金)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ